

よくわかる 生活保護ガイドブック

**貧困と向き合う生活保護ケースワーカー・福祉関係者必読の書！
新人からベテランまで、すぐに役立つ。**

全国公的扶助研究会は、半世紀を越える研究成果を生かし、『よくわかる 生活保護ガイドブック①②』を出版します。新人ケースワーカーからベテランワーカーまで活用できるよう、Q&Aを中心に、支援の方法を簡潔・明快に解説します。

① Q&A 生活保護手帳の読み方・使い方

全国公的扶助研究会 監修 吉永純 編著

生活保護実践の「骨」である生活保護手帳・実施要領の使い方、生かし方を43のQ&Aでわかりやすく解説！

【内容構成】

第1部：生活保護手帳・実施要領への招待 1 生活保護手帳・実施要領活用法/2 目からウロコの生活保護の目的、原理、原則とその勘どころ/3 さらなる学習、レベルアップのために

第2部：生活保護Q&A 1 保護の申請/2 実施責任/3 世帯の認定/4 資産の活用/5 稼働能力の活用/6 扶養義務の取り扱い/7 生活保護の各扶助/8 収入の認定/9 保護の決定/10 生活保護の停止・廃止/11 保護費の返還・徴収/12 その他



② Q&A 生活保護ケースワーク 支援の基本

全国公的扶助研究会 監修 吉永純・衛藤晃 編著

生活保護実践の「肉」となるケースワークの使い方を、実践例をもとに50のQ&Aでわかりやすく解説！

【内容構成】

1 生活保護ケースワークへの招待——いま、なぜ 生活保護ケースワークなのか/2 支援者と利用者、対象者とその関係/3 自立助長と自立支援の意味/4 ケースワークとソーシャルワーク/5 ケースワークの基本・訪問と記録/6 課題別の支援のポイント/7 就労支援ソーシャルワーク/8 生活保護制度の強みを活かしたケースワーク/9 連携・協働/10 ケースワーカーとして、組織として、福祉事務所の中ではぐむチカラ



イラスト：柏木ハルコ